





NO. 3

2025. 10

発行  
青年委員会：高橋 杜於  
女性委員会：紺野 美穂  
ジェンダー平等委員会：西部 政行



連合山形HP



連合山形

5/19(月)  
～20(火)

## 青年委員会・女性委員会合同「国会見学・連合本部見学」

5月19日（月）、20（火）の2日間、青年委員会・女性委員会合同で「国会見学・連合本部見学」を行いました。初日は、芳賀道也参議院議員の案内のもと、国会見学をしました。参議院本会場は、建築物の随所に施された職人の技術が印象的で、歴史と格式を感じる場所でした。通常では立ち入ることの出来ない、天皇陛下の御休所や中央広間等も見学し貴重な体験となりました。見学終了後は、舟山康江参議院議員、芳賀道也参議院議員、菊池大二郎衆議院議員と意見交換を行い、国政における活動内容や課題について理解を深めることができ、有意義な交流となりました。また、2日目は連合本部（連合会館）を訪問し、連合のさまざまな活動の本拠地や会長室等見学しました。見学および対話を通じて各部署の業務内容を学ぶことができ、連合が推進する活動への理解を一層深める機会となりました。



国会見学



国会議員との意見交換



連合本部



連合本部 畠山さんと意見交換

6/25(水)

## 女性委員会「山形労働局雇用環境・均等室へ要請行動」

女性委員会の紺野委員長をはじめ4名の女性委員会役員が山形労働局を訪問し、高須賀室長に要請書を手交しました。要請に際しては、職場で実際に起きている事例や、「労働相談ホットライン」に寄せられた相談内容をもとに、現場の声を交えた意見交換を行いました。労働局からは、ハローワークと自治体が連携して生活困窮者向けに設置している「ワンストップ相談窓口」の取り組みやハラスメント対策として、厚生労働省が運営するポータルサイト「明るい職場応援団」等の説明がありました。連合山形からは、このような情報がすべての企業に広く周知されるよう、お願いしました。労働局では、私たちの要請に対し真剣に耳を傾け、丁寧に対応してくださいました。現場の声を直接届けことができ、意義のある要請行動となりました。

### 【要請内容】

- ① 雇用創出と生活困窮者への支援
- ② 災害に対する女性への支援
- ③ 女性の活躍とジェンダー平等で多様性を認め合う社会を実現
- ④ ハラスメント対策



要請書手交



紺野委員長のあいさつ



小関事務局長による要請説明

8/27(水)

## 2025連合山形ジェンダー平等フォーラム



講師の佐藤菜々子氏

昨年7月、山形県豪雨災害のため中止となったフォーラムでしたが、今年は昨年依頼していた、庄内空港のBLUEA Ambassadorの方をお招きして開催することができました。講演はアンコンシャス・バイアスをテーマにC Aの方が思うジェンダー平等や航空業務にとどまらず、地域社会との連携を深める「地域創生事業」に取り組んでいることを説明してくださいました。地域に寄り添い、相手の立場に立って行動するその姿勢は、航空業務を超えて、地域社会との絆を深める大きな力となっていることを知ることができました。アンコンシャス・バイアスにおいても、自分のバイアスを認識し、意識して行動に移すことで、職場においては同僚とのコミュニケーション、お客様の満足度の向上が期待できると思いました。参加者は、リアルタイムで質問できるQRコードでたくさんの質疑応答ができ、有意義な時間だったと好評な意見をいただいた学習会でした。



西部ジェンダー平等委員会委員長あいさつ



講演の様子



講師とジェンダー平等委員会のメンバー

8/30(土)  
～31(日)

## 2025青年交流集会 「地元を知ろう！山形県の魅力～遊佐のウイスキーを通じて～」



各地協持ち回りで開催する「青年交流集会」は今年、酒田の鳥海高原家族旅行村を会場に開催しました。今年は「地元を知ろう！」というテーマで自身が住んでいる地元の魅力について考える学習会を企画しました。講師に月光川蒸留所株式会社 営業部長の塚本直記氏をお招きし、自社で製造されているウイスキーについて講演をいただきました。講演後には、ウイスキーの試飲もあり、参加者は月光川ウイスキーの香りや味を楽しみました。

グループトークでは、「自分のおすすめスポットをPRしよう」をテーマに、各グループで決められた題材について、自分がおすすめるものや場所を出し合い、地元の魅力を再認識し新たな魅力の発見につなげました。



講師の塚本直記氏



ウイスキーの試飲



グループトーク